市民国際プラザ －ダイジェスト－

第102号 （2021年3月29日発行）

地域に飛び出す市民国際プラザ！

『市民国際プラザ』では、国際協力や多文化共生に関する自治体、地域国際化協会、NGO/NPO等の相談に対応しています。更に、各地の**先進的な活動**を実際に取材し、本ダイジェストでご紹介しています。

○えひめJASL（愛媛国際日本語研修会）

2021年2月19日 場所：ZOOMオンライン

◆経験豊富な講師が支える地域の日本語教育推進の要となる団体を目指して

愛媛県松山市を中心に活動するえひめJASL。日本語学習支援・日本語教育研究の推進などが主な活動内容です。本日は同団体でご活躍の田中千代さんと林智子さんから新型コロナ禍での活動状況についてお話を伺いました。

↑JASLの実施する「わくわく日本語」勉強会の1コマ

1987年12月に設立されたJASL。（公財）愛媛県国際交流協会（EPIC）や（公財）松山国際交流協会（MIC）を始めとして、教育機関、民間企業などと提携し様々な日本語講座・教室を開催。例えばEPICによる「日本語学習集中講座」やMICによる「日本語教室」、「企業提携講座」や個人レッスンなどがあげられます。外国人技能実習生、会社員、ALT、留学生、主婦など、参加者は教室の時期や種類によって様々です。加えて日本語教育支援者の人材育成にも携わり、講師を招いての研修会や会員同士の「合同勉強会」などを開催。未経験者を含め、お互いに切磋琢磨し、学び合っているとのこと。「支援する者こそが学ばなければならない」という田中さんのお言葉が－そしてそれに強く頷く林さんのお姿が－印象的でした。

新型コロナの感染拡大はやはり活動に影響します。先のEPIC主催講座は、昨年、春季が中止となり夏季がオンライン対応に。また技能実習生などが来日できず企業研修が中止となったことも。そしてJASL事業の「オンライン化」。「自分たちにとってはチャレンジ。ZOOMの入り方から学び、模擬授業で経験を積んだ」とは林さん。導入にあたっては設立メンバーのパイオニア精神に学んだことが多く、また「オンラインにはオンラインの良さがある」とお2人とも口を揃えていいます。お2人によるインタビュー中のご説明は非常に明快そのもの。ご意見1つ1つが本当に勉強になりました。えひめJASLの前会長と元会長として側面からJASLを支えていこうというJASL愛が強く感じられました。これからのさらなるご活躍とご発展が期待される団体の1つだと改めて思いました。

○（特活）エスペランサ

2021年2月25日 場所：ZOOMオンライン

◆地域における多文化共生の進展を目指して

島根県出雲市で活動する（特活）エスペランサ。本日は前理事の堀西雅亮さんから団体設立の経緯や活動状況等について伺いました。設立は2010年。きっかけはリーマンショック。当時、約1,000人の日系ブラジル人の方々が出雲で働き生活を営んでいました。職を失った方々などをどうにかして支えなければ。市民活動に携わっていたメンバーたちが中心となって同団体を設立しました。

↑地元高校と共催した『グローバル・カフェ』の一幕

当初の活動はブラジル・レストランの経営。同地における国際交流、多文化共生の拠点的な機能も有していました。2015年からは同市で急増した外国籍住民、特に子どもへの支援の必要性から「いずも多文化こどもプロジェクト」を受託。こちらは2020年3月末で終了しましたが、「行政、大学、高校、企業等、様々な団体とつながることができた」とは堀西さんのお言葉です。

堀西さんは現在、情報蓄積やコーディネート機能の創出等、出雲市における課題を感じつつも、多文化共生の推進に携わる人材の育成や外国人向けの雇用環境の醸成等に一定の成果を感じつつあります。引き続き地域の多文化共生の進展を図ります。

～ 市民国際プラザを広く皆様に知っていただくために～

市民国際プラザのFacebookに**「いいね！」**をお願いします！♪

（一財）自治体国際化協会 市民国際プラザ
URL http://www.plaza-clair.jp E-mail international_cooperation@plaza-clair.jp

市民国際プラザ －ダイジェスト－

第102号 （2021年3月29日発行）

地域に飛び出す市民国際プラザ！

『市民国際プラザ』では、国際協力や多文化共生に関する自治体、地域国際化協会、NGO/NPO等の相談に対応しています。更に、各地の**先進的な活動**を実際に取材し、本ダイジェストでご紹介しています。

○RINK（すべての外国人労働者とその家族の人権を守る関西ネットワーク）

2020年9月29日　場所：ZOOMオンライン

◆日本で働く外国人とその家族の権利の拡大を目指して

↑RINKによる電話相談事業の実施風景

1991年に設立されたRINK。日本に在留する外国人への支援に関心のある人々が集まって結成されました。そもそもは複数の組織が集まり、ともに活動するネットワーク団体。まさに先駆けともいえる存在です。活動開始後、相談対応事業の件数が増加し、様々な問題に対応することになりました。設立当時は、観光ビザで来日し、そのまま日本で働き続けるオーバーステイの人たちからの相談が多かったそうです。また在留資格の喪失後、日本人と結婚した方が日本に住み続けられるよう在留特別許可を求める支援も行いました。その際には、当事者の方が通っていた日本語教室の方々が、嘆願書を書いてくださったこともありました。これまでRINKは法律関係の組織や行政機関などと提携し、外国人への支援に努力してきました。

早崎さんは「相談対応事業とはソーシャルワーク的な活動」だといいます。労働問題、技能実習生への支援、生活面への支援、離婚問題、親権問題、生活保護など、RINKは、外国人が社会生活を行っていく上で必要とされる問題に対応します。新型コロナ禍での活動に関し伺うと、やはり「感染拡大とともに、危機が迫っている人々が多くなった」とのお返事が。野宿している方、お金がほとんどない方、行政からの支援制度を全て使っても生活が立ち行かない方、在留資格がない方など、お困りの方々のご事情は様々です。多角的な支援が求められる厳しい状況です。

最後に早崎さんは「新型コロナの前では日本人だとか外国人だとか関係ない」とおっしゃいました。「全員の課題なのだから、区別なくやるのが多文化共生」だからです。RINKの活動によって助かったといえる人々を1人でも多くするために、どのような状況になろうと多文化共生を推進するために、今日も活動を続けます。

◇RINK ウェブサイト：https://rink-osaka.com/

○令和2年度 地域国際化ステップアップセミナー　2021年1月28日 場所: ZOOMウェビナー

「コロナ時代の国際協力と地域づくり」をテーマとして開催しました。全国の地方自治体、地域国際化協会、NGO・NPO、大学関係者など多様なセクターから170名を超える皆様方にご参加頂きました。中村絵乃氏（認定NPO法人開発教育協会）による課題提起と進行の下、地域づくり×国際協力やまちづくり×SDGs をそれぞれキーワードとして、長野県駒ケ根市及び愛媛県松山市を中心とする諸活動の事例報告を通じて、皆様方と考える機会となりました。最後となりましたが、この場をお借りしてご登壇・ご協力頂いた皆様方に厚く御礼申し上げます。

◆ ウェブサイト / 情報掲示板 リニューアル公開のお知らせ！！

市民国際プラザのウェブサイトが新しくなりました。多文化共生、国際協力、SDGs などに関する様々な情報を発信中です。また団体様向けに情報掲示板も運営しています。是非ご登録の上、ご活用ください。

ウェブサイト：http://www.plaza-clair.jp/

情報掲示板：https://theshare.info/clairjanic/

～ 市民国際プラザを広く皆様に知っていただくために～

市民国際プラザのFacebookに**「いいね！」**をお願いします！♪

（一財）自治体国際化協会　市民国際プラザ

URL　http://www.plaza-clair.jp　E-mail　international_cooperation@plaza-clair.jp